

に通つて説教をきき、朝に夕に神に祈りを捧げて生活の反省をしているのに、仏教国であるはずの日本国民が、日々の生活と仏教とがどれほど結びついているだろうか？すべてのものの根基を培うことを任務としている幼稚園教育において、小さいときからの信仰の問題、敬けんな態度や心持の育成はどうあつたらいいのだろうかなど感慨にふけりながら通読したのであつた。

幼児と保育

特集「頭のいい子わるい子」は、テストの結果に一喜一憂する親たち、進学に心を痛める教師の参考になろう。

「幼児の知能はどの程度が普通か」―では「三才、四才、五才くらいの子どもの場合、ただ知能検査だけで知能をみていくというのはむしろ危険で、それよりも先生なり親なりが、その子どもが日常生活の中でどのような行動をとるだろうかということ

を注意深く観察することの方が大事だということになる。」「幼稚園時代には、社会的な生活能力、注意力、忍耐力、観察力などを養うことが大切で、注意力とか観察力とかは、知能そのものではないが、頭を有効に使うためにはゆるがせにできない。……大たい五段階くらいにわけて自分の子どもがどのくらいの程度かは知るべきだと思う。……大事なことは、努力することによって持っているものを全部だすことだ」など知能というものの考え方、指導の方法の指針となる。社会生活能力検査が、具体的にのせてあることは、大へん親切である。

相談室「あたまのよい子あたまのわるい子」も参考になる。

前月号についで「彫刻とあそぶ子どもたち」も木株の城、螺旋形のすべり台など、北欧の美しい造形環境を写真入りで楽しませてくれる。毎号のことながら、「指導技術」も直接役立つ。

幼児の教育 第五十七巻 第一号

一月号 ◎ 定価 五十円

昭和三十二年十二月二十五日印刷

昭和三十三年 一月 一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町二ノ五

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購入についてのご注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。